

目次

[概要](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

ブランク ブランクをどのようにからの設定しなさいかこの資料に記述されています: Cisco E メールセキュリティ アプライアンス (ESA) のための AsyncOS のアドレス。

背景説明

ブランクからの: アドレスは複数の方法で解読することができます。電子メール メッセージにメッセージヘッダーで両方のエンベロープ アドレスおよびアドレスがあります。エンベロープ アドレスは Simple Mail Transfer Protocol (SMTP) メッセージ交換の間にメッセージが受け取られるとき作成されます。SMTP は NULL 以外であるアドレス エンベロープからの必要とします; 従ってアドレス エンベロープからのブランクのメッセージを受け取ることはできません。アドレス <> エンベロープからバウンス メッセージを送信 するために郵便利用者によってとりわけ使用する特殊なケースはです。これは受信郵便利用者へバウンスがそのアドレスに送信 することができないこと場合です; メール ループを防ぐことを使用します。

含みなさいメッセージヘッダー、:ヘッダが、すべてメッセージ の内容の考慮された一部で、エンベロープ アドレスを一致するために必要となりません。これはリスト電子メールによってよい効果に使用されます。例は長い宛先リストがコンテンツにどこにからの含まれていないかです: ヘッダ、しかしリスト リターン アドレスは頻繁に代りに指定されます。これはスパムおよびウイルスでもメッセージの送信側についての受信者を誤解させるために使用されます。

いくつかのメッセージは持つためにいいえからの監視されませんでした: 行かブランクからの: 行。それがブランクの通信筒に好ましいからのようであるかもしれませんが: ありそうなスパムとして行は、改善されたスパム キャプチャ比率の方法で少しを提供するかもしれません覚えていたりことを false positive を高めるかもしれません。アプリケーション生成されたメール、ニュースレターおよびバウンスの大部分はブランクがからのあるかもしれません: アドレスおよびほとんどのスパムは偽がからのあるようです: フィールドの URL のみが置換されます。

設定

そのメッセージ フィルターは通信筒ここにありますがそのどちらかがいいからの持っていない: メッセージヘッダーかブランクからの: ヘッダ。 フィルタは本当にいいからのない場合評価します: ヘッダにヌル値がある場合まったくヘッダ、または。 メッセージ フィルターをインストールするために CLI のフィルター コマンドを使用して下さい。

そのフィルタは a の通信筒からのここにありますが: <> コンテンツ ヘッダ:

確認

このセクションでは、設定が正常に機能していることを確認します。

ESA にポート 25 の Telnet を使用して接続し、a なしで 2 つのテスト メッセージを- 1 つのメッセージからの送信して下さい: 空のヘッダおよび別のメッセージからの: ヘッダ。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)